

「脳アミロイドアンギオパチーによる脳皮質下出血患者の特徴」 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属溝口病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間： 2023年 1月 26日 ～ 2023年 3月 31日

〔研究課題〕

脳アミロイドアンギオパチーによる脳皮質下出血患者の特徴

〔研究目的〕

高血圧性脳内出血に対しては開頭手術の適当がありますが、アミロイドアンギオパチーによる出血と判断された場合は、神経脱落症状があっても生命の危険がない限り血腫除去による利点は得られないとされています。しかし、この二者の術前鑑別は困難です。そこで、血圧、認知の有無、画像上の特徴を明確にすることで、術前にアミロイドアンギオパチーによる出血のリスクが高いとの判断が可能になることを目的とし本研究を行います。

〔研究意義〕

病理学的検索を施行した脳皮質下出血を分析し、アミロイドアンギオパチーによる出血患者と非アミロイドアンギオパチー出血患者を比較することでその相違点を明確にし、アミロイドアンギオパチーによる脳出血であるとの診断をより確実にすることができるという点で大きな意義のある研究であると考えています。

〔対象・研究方法〕

2013年4月1日から2022年3月31日の9年間に、帝京大学溝口病院に入院し開頭血腫除去術を受け、病理学的検索を受けた患者様の、性別、年齢、当院搬入時血圧、抗血小板剤や抗凝固薬内服の有無、認知症の既往、MRI T2*検査での微小出血（micro-bleeding）の有無に関するデータをまとめます。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属溝口病院

〔個人情報の取り扱い〕

資料、データからは個人情報を削除し、他の情報との参照なしに個人を特定できない形に加工します。資料、データは脳外科医局のパソコンにて保管し、持ち出し禁止とします。保管期間は、上記の研究期間から学会発表、学術論文採用までとし、論文の採用決定を持って研究終了とします。研究終了後はデータセット等を倫理委員会事務局に提出し、帝京大学臨床研究センター（TARC）にて10年保管の後に破棄します。

対象となる患者様、ご家族様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：氏名 山田昌興 職名 教授
所属： 帝京大学医学部附属溝口病院 脳神経外科
住所： 〒213-8507 神奈川県川崎市高津区二子 5-1-1
TEL： 944-844-3333 （代表）〔内線 3229 〕